

NPO理事長高田昇先生にインタビュー！

さらに、今回は当NPO理事長である高田昇先生にインタビューをして、此度の地中化事例について少しお話を聞かせていただきました！ お忙しい中、質問に答えていただきありがとうございます！



Q.この工事のコストに関して、16億円という費用は大きすぎると思いますが？

A.この16億のなかには地中化だけでなく、道路整備費用がかかっているのかと思われます。

そのため、このようにコストがかかっているのでしょうか。

Q.今回の地中化事例について一言お願いします！

A.長い時間をかけて、市のシンボリックな場所を地中化するという事は、市民の景観に対する意識を変えていくことになり、周辺地域に地中化を含む景観づくりが波及していくでしょう。

そういう意味でもインパクトは非常に大きいですね。



こちらが現在の写真です。おびただしい量の電線が綺麗になくなり、青空が広がる開放感のある道路となっています！

画像提供：国土交通省 九州地方整備局

こうして、街が少しずつ電線類地中化されていくのはうれしいですね！日本の電柱は**3,300万本**！日本全体が地中化されるには何年かかるかわかりませんが、地道にやっていくしかないですね。

今回のインタビューでも、コスト面の指摘がありました。電線類地中化はこれからの日本の街づくりに**必須インフラ**だと思います。**補助金制度などの整備**が喫緊の課題ですね！

担当者が語る「地中化」で街は変わる思い、地中化のメリット

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第20号 発行日：2010年2月15日(月)
発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田昇

【特集】地中化時代の幕開け！ ～九州、長崎県で地中化工事が完了

今回はつい最近、市内で地中化工事を終えた長崎県長崎市桜町地区の事例をもとに紹介していきましょう！
古くより外国との交流が盛んであった長崎の町。今年の大河ドラマで沸きに沸くこの地で2001年度から工事していた地中化工事がついに終わりました！約9年の工事期間を終え、上空にあった電線などは、地中に設置した電線共同溝の中に収納しました。

電柱の撤去で視界がすっきりするほか、歩行空間の確保や、災害の影響により発生する電柱倒壊事故などの防止が期待できます！



こちらは平成19年度に撮影された写真です。この蜘蛛の巣状に広がる電線が！

画像提供
国土交通省
九州地方整備局

電線類地中化の工事だけでなく、道路舗装工事も行われたとのこと

担当者が語る！地中化工事に対する思いやいかに！？

国土交通省、九州地方整備局の担当の方に今回の工事や電線類地中化に対する思いを聞かせていただきました！

Q.この地域を地中化するまでに至った経緯は？

A.長崎市街地中心部ということもあり都市の景観の向上、台風や地震による電線事故防止対策として計画されました。

Q.電線類地中化をこれまでにに行った地域は桜町地区を除いてどれくらいありますか？

A.長崎県内で国交省が整備したのは大きく分けて佐世保市、大村市の2ヶ所(今回の地域を含めれば3ヶ所)です。

また、それぞれの市内で何ヶ所か工事を行っていました。

Q.地中化の工事は10年という長期間にわたるものでしたが、その期間周辺住民や、商店の反応はどのようなものでしたか？

A.交通面で影響を与えないように夜間の工事が進められていましたが、マンションや居住家屋他諸々から騒音に関する苦情が多数ありました。

なので、なるべく音を出さないように細心の注意を払って工事を進めていきました。

また、電線管理者との調整も何度も図ってきました。

Q.完成した後の、住民や商店の反応は変わりましたか？

A.やはり綺麗になったと高評価を多数得られました！

メールマガジンも好評配信中です！！

当NPOでは、メールマガジンも配信させていただいております。電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！アドレスはコチラ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

Q.電線類地中化の工事について、追加調査工事の必要性などありますが、これは住民の意見ですか？

A.(近くにある)諏訪神社前において石畳があるのですが、歩道部分も同じ材質、同じデザインにするように神社側と綿密な話し合いを行ってきました。

他にも地域の住民の方々の意見を参考させていただきました。

Q.日本国内で電線類地中化が進まない原因があるとすればどこにあると思いますか？

A.一番大きいのはやはり予算部分かと思います。

また、道路管理者だけが地中化をしたいと思っても、周りの同意を得られないと出来ないのが現状です。電線管理者や地域住民の方々との調整が難しいことも地中化が進まない理由の一つではないかと思います。

地元住民の方々の熱意がこちらの思いとマッチすればとんとん拍子に進んでいくと思います！

しかし、特別な需要なので難しいところもあります。

Q.他に電線類地中化を推進していきたい地域はありますか？

A.昨年から大村市内でまた新たな工事が進められています。

道路管理者として進めたいと思っても電線管理者との調整を行わないといけません。

地元住民の方々がやりたい！とおっしゃってくれば是非とも地中化を進めていきたいです。

質問に答えていただいた塩塚様、ご協力ありがとうございます！

画像引用：Wikipedia

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>



